

1. 泥炭 2. まさ土 3. シラス 4. 関東ローム

1. 県外から転入してくる人の数よりも、県外へ転出していく人の数の方が多い「社会減」の状態にある。
2. その地域に住んでいる「夜間人口」よりも、仕事や通学のために滞在している「昼間人口」の方が少ない。
3. 15歳未満の「年少人口」が、65歳以上の「老年人口」の割合を大きく上回っている。
4. 昼間に県内の工場や商業施設で働く労働者の数が、夜間に県内で消費活動を行う人の数を超えている。

1. 福島県 2. 茨城県 3. 群馬県 4. 栃木県

1. 群馬市 2. 前橋市 3. 宇都宮市 4. 高崎市

1. 住宅地としての人気が高まって都心から多くの企業が移転してきたため、昼間人口が夜間人口を大きく上回る。
2. 都心へ通勤・通学する人が多いため、その地域に住んでいる人の数（夜間人口）が、昼間にその地域にいる人の数（昼間人口）を上回る。
3. これらの区はベッドタウンとしての機能を失い、現在は昼間人口と夜間人口の差がほとんどなくなっている。
4. 都心のオフィスビル化が進んだ影響で、昼夜を問わず人口が減少しており、夜間人口が昼間人口を下回る状態が続いている。

1. 沖積層 2. 関東ローム層 3. シラス 4. マサ土

1. 北関東の各県は農業や工業に専念する地域として区分されているため、大学などの教育機関を設置することが制限されている。
2. 関東地方のすべての県で大学数を均等にするため、人口の少ない県ほど1校あたりの学生定員を増やすよう法律で義務付けられている。
3. 交通網が発達であり県境を越えた通学が困難なため、各県が独自に同規模の大学群を整備した結果、人口比に応じて差がついている。
4. 東京大都市圏への人口集中にともない、教育や雇用の機会を求めて学生が集まるため、東京都心やその周辺に大学が多く立地している。

1. 小型・軽量で重量あたりの価格が高い、半導体等製造装置などの高付加価値製品。

2. 世界各地へ専用の運搬船を用いて大量に輸出される自動車。

3. 重量があり船舶での輸送が適している鉄鋼や大型の工作機械。

4. 価格が安く大量輸送が前提となる、海外から輸入された衣類や日用雑貨。

1. 九州地方 2. 関東地方 3. 東北地方 4. 北海道

1. 内陸部に広大な工業団地があり、そこで生産された自動車を世界各地へ輸出する役割を担っているため

2. 周辺に国際空港があり、電子部品などの小型で軽量の付加価値商品を航空機で輸出入するため

3. 背後に大規模な消費地を抱えており、海外で生産された生活関連の製品を多く運び込む必要があるため

4. 周辺に石油化学コンビナートが集まり、輸入した原油を加工して工業製品として輸出する拠点となっているため

1. 水戸市 2. さいたま市 3. 宇都宮市 4. 前橋市

(2019年 和歌山県公立入試 類似)

1. 周辺県への勤務・通学による流出が多いため、昼間人口比率が100を下回っている	2. 居住者数と勤務者数がほぼ一致しているため、昼間人口比率が100前後で安定している	3. 夜間人口が昼間人口を大幅に上回っており、昼間人口比率が100未満の数値を示している	4. 周辺県からの通勤・通学による流入が多いため、昼間人口比率が100を大きく超えている
---	---	--	--

1. 関東地方と近畿地方 2. 東北地方と中国地方 3. 中部地方と四国地方 4. 九州地方と北海道